

令和8年度 学校経営方針

第4次日野市学校教育基本構想

「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を育む
— みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる —

長期的目標

目指す学校像：日野一小を **すべての子供の活躍の舞台に！**

中期的目標

学校づくりのテーマ：**今より もっと楽しい学校をつくる**

短期的目標

令和8年度 「安心できる学校」の実現

安心できる学校 … すべての子供に「居場所」と「活躍の場」がある学校

**安心できる学校
プロジェクト**

居場所 … 子供が自分のペースですごし、思ったことが表現でき、それが受けとめられ、自分がここにいてよいと思える場所(やすらぎ)
活躍の場 … 子供が今もっている力を存分に発揮し、やってみたいことに、仲間と共に、夢中になって取り組める場(挑戦)

「居場所」と「活躍の場」を得た子供の姿
○「すすんで・みんなで・楽しんで」活動する
○「できた・わかった・高まった」を実感する
○「困った・助けて・手伝って」を発信する

みんなでチャレンジしたいこと

「ありがとう」があふれる学校
- 「安心できる学校」を、「ありがとう」の言葉から -

令和8年度 教育活動の重点

— 「安心できる学校」を実現するための具体的な取り組み —

- 1 自ら課題をもち、仲間と共に解決し、確かな力を身に付ける授業づくりの推進** 【「できた・わかった・高まった」を実感する】
○「見通し→実行→振り返り」の「AAR サイクル※」を、子供が自ら回して学びを深めていく学習過程を工夫する。
○デジタル学習基盤の活用、振り返り活動の重視、仲間とともに考え話し合い表現する活動(言語活動)の充実、UDLの視点に立つ授業展開と学習環境の整備、教師による学習評価の改善により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
○地域を学びのステージとし、子供が自分たちのできることを考え、実践する探求的な活動が行えるようにする。
- 2 さまざまな仲間と共に、自分たちの生活を自分たちでつくる活動の充実** 【「すすんで・みんなで・楽しんで」活動する】
○縦割り活動、体育的活動、行事、クラブ・委員会活動、学年・学級での活動等を通して、各学年の発達の段階に応じた役割を果たし、「今よりもっと 楽しい学校(学年・学級)」にするための活動に、様々な仲間と共に、創造的に取り組む。
○幼稚園・保育園児との交流、中学生等の交流、さくら組との交流及び共同学習、特別支援学校との副籍交流、異学年交流などを通して、多様な個性について理解し、共に生きる力を育む活動を計画的に行う。
○各教科や道徳科等で学んだことを生かして取り組む「子供発信」の提案を受け止め、子供自身の力で実現していく活動に教職員が伴走し、子供自身が学級・学年・学校づくりの主体となっていることを、発達の段階に応じて実感できるようにする。
- 3 安心できる環境づくり** 【「困った・助けて・手伝って」を発信する】
○生命の尊さを学び、暴力行為の根底にある誤った認識や行動、暴力が及ぼす影響を正しく理解し、生命を大切にし、自他を大切にする態度を身に付ける生命(いのち)の安全教育を行う。
○いじめを「しない、させない、許さない指導」を徹底し、継続的・計画的に実態把握を行うとともに、「学校いじめ対策委員会」による組織的な取り組みと対応を行う。
○不登校の早期発見、早期対応のための取り組みや校内登校支援教室「ふらっとルーム」の効果的な活用、SCやSW及び関係機関との連携により、子供の個々の状況に応じた対応を組織的に行う。
○UDLの視点から校内環境を整備すると共に、保護者やSC及び関係機関との連携や、校内委員会における個々のケースに応じた具体的な支援策の検討等により、子供の発達の状況に応じた個別の支援を行う。
○災害安全・交通安全・生活安全の視点から「自分の命は自分で守る」ことを目指した安全指導を行う。
- 4 継続的・発展的な学校運営の改善**
○学校運営協議会の運営の充実を図り、地域の力を学校経営に生かし、各委員との協働によって教育活動や学校運営の改善を行う。
○「すべては日野一小の子供たちのために…」の視点に立ち、業務の改善や教育活動の改善を行い、教職員の働き方改革を推進する。

※印:「AAR サイクル」…Anticipation(見通し)→Action(行動・実行)→Reflection(振り返り)という、OECD が提唱する学習者が主体的に学びを深めていくための学習のプロセス